

平成26年度 長岡市三島郡音楽部 活動報告

部長 桑山 明夫

1 研究主題 「思いをもって表現する子ども」

2 研究の概要

(1) 第53回 長岡市三島郡小学校親善音楽会

平成26年11月11日(火)～14日(金)

会場 長岡市立劇場

(2) 授業研究会

＜小学校＞ 平成26年11月25日(火)

長岡市立関原小学校3年1組「おはやしをつくってえんそうしよう」

授業者 伊藤 啓子 教諭 指導者 渡辺 由紀 様(上越市立大湊小校長)

＜中学校＞ 平成26年11月28日(金)

長岡市立関原中学校2年B組「日本の太(樽砦)」

授業者 小山 絹子 教諭 指導者 長谷川 泰山 様(上教大附属中副校長)

3 研究の実際

(1) 第53回 長岡市三島郡小学校親善音楽会

長岡市及び三島郡内の全小学校63校(総合支援学校を含む)が、4日間6ステージに分かれて合唱や器楽合奏を披露した。全校児童、学年、複数学年合同等、参加形態や発表内容は、それぞれの学校の事情や特色に応じて様々であるが、どのステージもレベルが高く、日頃の音楽学習や音楽活動の成果を十二分に発揮していた。各校の美しい歌声や演奏に、感動の拍手が沸き起こっていた。



(2) 授業研究会

小学校は、グループ毎に各自がつくった2小節の旋律をつないで演奏し、更にそれに工夫を加えてお囃子づくりする、という展開であった。それまでの学習で行ってきたリズム遊びを振り返ったり、「反復」「問いと答え」「変化」等を学んだりしながらイメージ化を図り、ワークシートに書き込んだ旋律をリコーダーで演奏してお囃子づくりを楽しむことができた。

中学校は、学区で行われている「関原祭り」での経験をもとに、樽砦を用いてグループで創作活動を行うものであった。各グループとも、創作分野においてはリーダーを中心に活発な意見交換を行い、意欲的に取り組む姿が見られた。表現分野では、各グループ毎に創作したものを発表し合い、それぞれの工夫を認め合っていた。



4 成果と課題

研究主題にあるように、子どもたち一人一人の思いを大切にし、音楽をつくり上げ、それを表現していく姿が見られるようになっている。今後も、子どもたちの意欲的に音楽表現に取り組む音楽学習、音楽活動に取り組んでいく。